



よしだつうしん

吉田通信

第103号
【2023年4月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆いつか戻ってきてくれることを信じ…◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第103号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、2024年に卒業する大学生や大学院生が対象の就職活動が3月1日に解禁され、今年も本格的な採用活動が始まりました。さっそく私たちも新潟で行われました合同企業説明会にブースを出してきたのですが、ちょっと気になることがありました。

聞くとところによると、この地方の合同企業説明会に参加する学生の人数が、コロナ前と比べ、すごく減っているようなのです。また、それだけ学生の参加者が減ってくると、ブースを出す企業も減ってと、地方経済を考えたときに、あまり良くない方向へ進んでしまっているのではと思わずにはられません。

実際に採用活動をしている中で、ここ数年、私が特に感じているのが、若者の地方離れです。東京の一極集中が問題になっていると言われて久しく、ただ、その状況が変わることはありません。少子高齢化が進んでいると言われていますが、そのスピード以上に、地方で働く若者の数の減り方が急速に進んでいることを肌で感じます。それだけ、東京などの人が多い都心で働きたいという若者が多いのかもしれませんが。

地方離れが進んでいた中、2020年からコロナの状況になり、その中で地方が注目を集めたこともありました。人が多い都心ではなく、地方で働こう！という機運が高まりましたが、振り返ってみるとそれも一瞬で終了。もちろん、一部の人は都心を離れて地方を選択してくれていると思いますが、それでも、多くの若者は都心で働くことを選択されているようです。



この状況が進むと、地方が衰退していってしまうことは目に見えています。ただ、若者が東京などの都心に憧れる気持ちもよくわかります。なので、最近では、一度東京など都心に出ていただいて、そこで大きく成長して、そう遠くない未来にまた地方に戻ってきて働いてくれたらなど、そんな気持ちでおります。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、3月13日からマスクの着用が個人の判断に委ねられることになりましたが、当社は3月13日以降も当面の間、マスク着用でお客様対応をさせていただくことを決定いたしました。各店舗、それから、出先でもお客様対応の際はマスクを着用させていただきます。ちなみに、店舗に来られるお客様は、マスクを着用していただいても、いただかなくてもどちらでも大丈夫です。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史